

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ

2025年日本国際博覧会 テーマ事業「いのちをつむぐ」への協賛が決定

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、このたび、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」の中で、小山 薫堂テーマ事業プロデューサーが担当する EARTH MART 館に、協賛することが決まりましたので、お知らせします。



©EARTH MART / EXPO2025

私たちフクシマガリレイは、業務用冷凍冷蔵庫、ショーケースの製造を起点として、冷やす技術を軸に戦後のスーパーマーケットスタイルの定着や、外食産業の拡大に合わせて、食のインフラを支え続けてまいりました。

また、2019年にグループブランドを策定した際に、ありたい姿として「食といのちの未来を拓く挑戦者」を制定しました。“いのち”には食を通じた健康や寿命への取り組み、医療理化学分野におけるメディカル事業、急速凍結冷却技術による賞味期限の延長やフードロス削減、そして環境ビジョン『Dramatic Future 2050』を通じた地球のいのちといった多くの意味が込められています。これは大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」とも通ずる部分があると考えています。

今後、当グループの持つ冷凍冷蔵技術、食物保管技術などでテーマ事業「シグネチャーパビリオン」の実現に協力していきます。

フクシマガリレイは、“食”というこれまでのビジネスフィールドにあらたに“いのち”を加え、これからの新しい可能性を拓いてまいります。環境に配慮しながら生活者（消費者）の食生活品質の向上を図り、生活者の「幸せ」を実現することによって企業の社会的責任を果たしてまいります。

■大阪・関西万博の概要

開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

開催期間：2025年4月13日～10月13日（184日間）

来場者数（想定）：約2,820万人

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン「Designing Future Society for Our Lives」

■「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。

■パビリオン名及びテーマ事業名、テーマ事業プロデューサー

- ・Co-being 「いのちを響き合わせる」宮田 裕章（慶応義塾大学教授）
- ・いのちの未来 「いのちを拓げる」石黒 浩（大阪大学教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長）
- ・いのちの遊び場 クラゲ館 「いのちを高める」中島 さち子（音楽家、数学研究者、STEAM教育家）
- ・null² 「いのちを磨く」落合 陽一（メディアアーティスト）
- ・いのち動的平衡 I am You 「いのちを知る」福岡 伸一（生物学者、青山学院大学教授）
- ・いのちめぐる冒険 「いのちを育む」河森 正治（アニメーション監督、メカニックデザイナー）
- ・EARTH MART 「いのちをつむぐ」小山 薫堂（放送作家、京都芸術大学副学長）
- ・いのちのあかし 「いのちを守る」河瀬 直美（映画作家）

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：営業戦略部 営業企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2-6-18 TEL：06-6477-2031 FAX：06-6477-0025

URL：<https://www.galilei.co.jp/>